

「HOSPEX Japan2014」

～展示会視察のご報告～

ヘルスケア・プロジェクト 高橋 弘章

2014年11月12日(水)～11月14日(金)、一般社団法人日本医療福祉設備協会、一般社団法人日本能率協会主催にて、第39回 HOSPEX Japan2014が開催されました。

本年は前年を上回る来場登録者数21,827名(前年対比123%)、入場者数68,933名(前年対比118%)となり、各出展者の展示ブースは装飾も非常に鮮やかで活気があったように感じました(下記にて、「来場登録者数速報」をご参考ください)。景気回復により新たな事業マッチングを図りやすくなったこと、超高齢化社会を世界に先駆けて突入する日本の「医療・介護」領域への更なる関心の高まり、などなど出展への背景はそれぞれありそうですが、避けては通れない“老い”や“病への挑戦”への関心の高さはとても喜ばしいことであります。

来場登録者数速報

()内は前回実績。

月日	天気	HOSPEX Japan 2014 来場登録者数※1	他展からの 来場登録者数 ※1※3	来場登録者数 ※1合計	入場者数 ※2合計	備考
11/12(水)	曇り	7,554名 (6,347名)	553名 (921名)	8,107名 (7,268名)	22,290名 (18,780名)	※1 来場登録者数: 展示会場にて来場者として登録された人数。 会期中「登録」につき1回のみカウント
11/13(木)	晴れ	7,074名 (6,006名)	862名 (1,008名)	7,936名 (7,014名)	22,847名 (20,202名)	※2 入場者数: 展示会場に入場された人数。各ホール入口でカウンター計測。 1名につき複数回入場含む。上記来場登録者数のほか、出展者、講演者、 報道関係者、共催団体関係者などの入場も含む。
11/14(金)	晴れ	7,199名 (5,331名)	827名 (987名)	8,026名 (6,318名)	23,796名 (19,073名)	※3 同時開催のクリーンEXPO、第1回トイ産業展(3日間合計10,037名)は共通 入場につきカウントには含みません。
合計		21,827名 (17,684名)	2,242名 (2,916名)	24,069名 (20,600名)	68,933名 (58,055名)	

出典;HOSPEX Japan2014 HPより

今回、HOSPEX開催事務局へお時間を得て、インタビューの機会を頂きましたのでご紹介致します。

◆HOSPEX開催事務局へインタビュー

～本年度の特徴や来年度の抱負についてお聞きしました～

Q. 本年度の特徴について

「本年度は従来からの『病院・福祉設備機器展』を中心しつつも、新たに『病院・福祉給食展』『医療・福祉機器開発テクノロジー展』を併設し、開催しました。

特に、『医療・福祉機器開発テクノロジー展』については、新規参入、部品供給企業の出展を頂きました。自治体や銀行からは地域の特徴ある企業を数社引率しての出展であったり、技術力のある中小企業の出展、また、経済産業省からは「医工連携事業化推進事業」として事業採択者の事例発表やセミナーセッション＆ワークショップ実施もあり、この他、ロボット関連での出展もあったことが特徴になります。」

Q. 前年と比較しての出展者の変化について

「技術力のある中小企業では、前年、前々年の出展と比べますと展示の具体性がはつきり見えてきたように感じています。ブースの活用も、見る、触れるに沿った「商品発表」から現場での使い方、現場体験に沿った「売り」へと一新されていたことに驚きました。このような変化も主催者としては嬉しい限りです。」

Q. 2015年度の抱負について

「2015年に向けて出展者募集もスタートしました。既に本年度の出展企業からも多数申し込みを頂いています。更に展示規模も拡大し、医療従事者・製造販売メーカー・新規参入企業の“出会いの場”にしていきたいと考えています。」

2015年度に向けた活動検討のご参考になりましたら幸いです。

弊社JMACとしても、「医療機器」「介護器機」に関する新規参入支援や事業拡大に向けてのビジネスマッチング提供を引き続き進めております。こんなことに悩んでいて解決策を探っている、こんなことに協力してもらえらるパートナーを探している、など各社からのお問合せにも対応しております。ご要望がございましたら、下記までお問合せくださいませ。

【お問合せ】 株式会社日本能率協会コンサルティング

担当;ヘルスケア・プロジェクト 高橋

URL: <http://www.jmac.co.jp>TEL.03-3434-0982 mail: healthcare_jmac@jmac.co.jp